

電機労働者懇談会

発行者ELIC編集委員会谷口利男
105-0004 東京都港区新橋4-24-3
Tel/Fax (03) 6450-1777 エムエフ新橋601
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2014年4月10日

No 316

1部100円

ルネサス玉川事業所の閉鎖反対

＝ルネサスリストラ対策シンポジウムに53人の参加＝

3月30日(日)午後、川崎市中小業者総合センター2F会議室にて「ルネサスリストラかながわ対策会議(準備会)」主催、神奈川労連・川崎労連・相模労連などの参加を得て「玉川・相模原事業所の存続と雇用維持を」のシンポジウム(写真右)が開催されました。当日は、12団体から53人の参加者があり、司会は川崎労連の福本事務局長が行い、主催者挨拶を電機・情報ユニオン神奈川支部中村委員長が行いました。

講演(1)は60分間、桜美林大学の藤田実教授(写真下)から「ルネサスはリストラで復活しない」をテーマにして、「2000年代の構造改革とリストラ推進政策」「ルネサスのリストラは後ろ向き」「産業革新機構は投下資金の回収」「ルネサスの強みを失わせたリストラ」「職場・産別・地域で闘う」などについて詳細に分析されました。

講演(2)は30分間、かながわ総研岡本代表理事(写真右)から「神奈川でのリストラ反対のたたかい」をテーマにして、一人ひとりの要求を法律を活用して守って行く重要性を強調されました。

闘いの経過報告では、ルネサス懇談会代表が「ルネサスの利益追求リストラと闘う」と題して「2010年から4回実施された早期退職の実施」「管理職を降格させてまで退職を迫る」「営業利益率を二桁にするために人員削減」「闘いを組織して反撃」など、取り組みについて報告しました。



会場発言は、ルネサスの職場で活動している2人からと日本共産党川崎市議団大庭市議、電機・情報ユニオン米田委員長、地元地域から下山氏、神奈川労連労働センター澤田事務局長、神奈川労連住谷副議長ら7人から講演にかみあった内容で行なわれました。

電機・情報ユニオン森書記長から「対策会議結成の呼び掛けとカンパの訴え」を行ない、閉会挨拶は神奈川労連の山田事務局長が行ないました。

今月号の紙面

- ①ルネサス玉川事業所の閉鎖反対
- ②電機懇「14春闘を振り返って」
- ③14春闘ピラ、2万6千枚配布
労働総研「賃金研究会」で報告
- ④日立は「人権宣言」と大乖離！
日立コンサル問題で記者会見
- ⑤玉川事業所で1902枚配布
ルネサスで696人の追加退職
- ⑥私の自慢「ビキニデー参加」東さん
- ⑦電機・情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧掲示板、二つの学習会案内状
からむす原稿募集、集積回路